

市政に関する 一般質問

6月定例会

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をただすものです。
6月定例会では、6月15日と16日に一般質問が行われ、通告順に12名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

・川口 明和議員	・苅谷 進一議員
・浪川 茂夫議員	・小川 博之議員
・椎名 嘉寛議員	・川口 健男議員
・越川 竹晴議員	・日色 昭浩議員
・石田 加代議員	・田村 明美議員
・武田 光由議員	・大木傳一郎議員

政治姿勢……

問 市長のマニフェストを4年の任期中に一気にすべて実施するのは難しいと思う。どのように実現するか基本的な考えを。

答 このマニフェストは、市民の皆さんが匠瑛市に住んで良かったと心から実感できるまちを、市民とともにつくるための方向性を示す、いわば新生匠瑛丸の羅針盤です。
市長就任後、今日までその実現に向け、鋭意努力を

重ねてきました。これまでマニフェスト実施のすり合わせが整った事業については、さつそく今定例会での補正予算に計上し、提案させていただきました。

しかし、一方で施策を展開するに当たり、さらに調整を要するもの、財政上の課題が残るものについて、任期中のできるだけ早い時期に実現できるように努力していきます。

問 市長のマニフェストの実施について、子ども医療費無料化の年齢拡大や介護サービスなど、実施すれば恒常的に予算編成が必要となる。その裏付けは。

答 子育て、教育、介護など、市民サービスの向上を図るためには、一定の財源確保が必要です。
本市では、平成19年から枠配分方式による予算編成を行っているところですが、合併特例事業などの重要施策については、枠外経費として市長政策枠を充てています。
新年度の予算編成に当たっては、マニフェスト実現のための市長政策枠を新たに確保していきます。



中央地区で行われたタウンミーティング

問 タウンミーティングについて、市民から寄せられた意見をどのように取り込んでいくのか。

答 タウンミーティングは、まちづくりのための市民参加を具現化したものの一つです。
すでに6月1日に中央地区を対象に開催したところ、6月と7月の2か月間に、市内12地区で開催する予定です。

この中で、できるだけ多くの市民の皆さんと直接話をさせていただき、出された意見、要望をまちづくりの反映させていきます。

問 タウンミーティングについて、地域の方々の関心と呼んでいるようである。6月1日に行われた中央地区でのタウンミーティングの状況は。

答 中央地区については、6月1日に午後7時から午後8時30分頃まで開催しました。
市からは、市長、副市長、教育長、課長5名が、また市民の方々101名に参加いただきました。

当日は9名の方から、循環バスに関する事、子ども手当に関する事、子宮頸がんワクチン接種費用助成に関する事、光プロードバンド整備工事に関する事などの意見が出されました。
また、タウンミーティングの概況については、会議録がまとまり次第、市のホームページに掲載していきます。

地域医療……

問 市民病院の入院・通院の利用率はどうなっているか。

答 昨年、看護師不足により一部病棟を休止し、稼働病床を157床から110床にしたことで、平成20年度に比べ、入院患者は延べ2、257人減少しました。

病床利用率も許可病床157床に対し54・7%で、この10年間で最も低い数値となりました。
また、今年の2月1日から145床で稼働していましたが、病床利用率が好調であった2月に比べ、5月末現在の病床利用率は55・4%となり、再び厳しい状況となっております。

問 平成21年度は市民病院の第3病棟を休止した時期があったが、現在は再開した。しかし、慢性的な医師不足、看護師不足は今でも最重要課題である。市長は市民病院の現状と課題をどのように認識しているか。

答 市民病院の使命は地域医療を支えることであり、地域の事情に応じた医療を提供することにも、個人医院にはできない高度医療を提供することが課せられています。
平成21年度は看護師不足により一部病棟を休止したこともあり、経営は厳しい状態となったところです。
今後も市民が安心して医療を受けられるよう、ほかの医療機関と密接な連携のもと、地域医療の充実に努めたいと考えています。

問 市内の整形外科医院の混雑ぶりは有名だが、市民病院の整形外科での診療行為をもう少し増やせば、患者の利益にもつながると思う。市民病院の整形外科及びリハビリテーション科の診療方針は。

答 市民病院の整形外科は、2次救急対応病院として医療連携を図り、手術対応の機能強化を目指しているところです。

問 市民病院の今後について、行政改革大綱には指定管理者制度を導入する方針が依然として記載されている。また、市の総合計画には旭中央病院との経営統合の検討も書かれている。時期を見て、行政改革大綱及び総合計画の見直しを求めたい。

答 総合計画のうちの前期基本計画において、ご指摘のように経営統合に関する記載があります。
今年度と来年度の2か年で、総合計画の中期基本計画を策定します。
市民病院の経営統合に関しては議論がありますので、前期基本計画の精査を進める中で、中期基本計画に反映させていきたいと考えています。

問 市民病院の使命は地域医療を支えることであるが、医療の事情に応じた医療を提供することにも、個人医院にはできない高度医療を提供することが課せられています。

問 市民病院の今後について、行政改革大綱には指定管理者制度を導入する方針が依然として記載されている。また、市の総合計画には旭中央病院との経営統合の検討も書かれている。時期を見て、行政改革大綱及び総合計画の見直しを求めたい。

答 総合計画のうちの前期基本計画において、ご指摘のように経営統合に関する記載があります。
今年度と来年度の2か年で、総合計画の中期基本計画を策定します。
市民病院の経営統合に関しては議論がありますので、前期基本計画の精査を進める中で、中期基本計画に反映させていきたいと考えています。

子育て支援……

問 8月から子ども医療費無料化の対象年齢を小学校3年生まで拡大する補正予算が提案されており、県も12月から小学校3年生まで拡大する。県が実施する12月にはさらに上乗せして実施する考えはあるか。

答 中学3年生までの子ども医療費無料化については、市長のマニフェストで段階的、積極的に実施していきたいとしているところです。
段階的な無料化については、現在小学校就学前までを対象に全額助成を行っているところですが、今年の8月1日の診療分から、対

も医療費無料化について、市長のマニフェストで段階的、積極的に実施していきたいとしているところです。
段階的な無料化については、現在小学校就学前までを対象に全額助成を行っているところですが、今年の8月1日の診療分から、対

象者を小学校3年生まで拡大して助成するために今定例会に補正予算を提出しました。
今後は、さらなる対象者拡大のため、子育て支援対策委員会に検討を指示していきます。市長の任期中に中学校3年生まで無料化できるように、頑張っていきたいと思っております。

リハビリテーション科については、医師をはじめ、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がチームを組み、目標設定のもと、最良のリハビリテーションプログラムを提供して、患者が社会復帰していくためのお手伝いをしたいと考えています。

市民病院の今後について、行政改革大綱には指定管理者制度を導入する方針が依然として記載されている。また、市の総合計画には旭中央病院との経営統合の検討も書かれている。時期を見て、行政改革大綱及び総合計画の見直しを求めたい。